

広報
TAGAWA

たがわ

衛生兵の夫が、南方戦線から送ってくれた手紙。「田川と同じくらい月が綺麗だ」「俺は元気だ。体も太ってきた」と妻を元気づける言葉が綴られています。



はじける笑顔



これからも



本市では、88歳・100歳以上となる人に長寿祝い品を贈っています。本年の市長訪問は9月9日に行われ、村上卓哉市長が3人の自宅を巡って祝福しました。そのうちの2人、伊達マツノさん（紙面左側）と安江モトさん（紙面右側）は、ともに新100歳。何でも食べて、できる限り歩くことを心がけている伊達さんは、国や県、市からのお祝い状などを受け取り「こんなに嬉しいことはありません。ありがとうございます」と手を合わせました。安江さんは、1日の体調や食事などを毎日ノートに記録。電子辞書も使いこなしています。訪問時には、35年前に他界した夫の写真や手紙を眺めながら、結婚の1か月後には戦地へ行ってしまったこと、生死をさまよいながらも無事に帰還したこと、一緒に仕事や子育てに奮闘したことなど、さまざまな思い出を語ってくれました。

令和6年

10

2024/NO.1596